

関係者各位

2016年2月26日

会社名 株式会社ラクーン

代表者名 代表取締役社長 小方 功

(証券コード：3031 東証マザーズ)



6次産業化を進める農家・農園ユーザーが増加 クラウド受注・発注システム「COREC (コレック)」のユーザー数が5,000社を突破！

株式会社ラクーン(本社：東京都中央区、代表取締役社長：小方功)が運営する、クラウド受注・発注システム「COREC (コレック)」は、ユーザー数5,000社(バイヤー3,094社、サプライヤー1,923社)を突破いたしました。

ユーザー増加の主な要因としては、1、連携サービスの増加、2、受注登録やレポート作成など機能の追加、3、サプライヤーによるバイヤーの誘致件数増加 があげられます。

最もユーザーの多い業種は飲食関連で、全体の23%を占めております。中でも農家・農園等の生産者と飲食店での受注・発注に利用いただくケースが増えております。

背景としては、従来の流通だけではなく、ブランド化した商品を生産者がダイレクトに飲食店へ販売する、いわゆる6次産業化を進める生産者が増加傾向にある点が挙げられます。

このような生産者にとっては、従来のFAXや電話での受注のまま取引先が増えると、事務処理に多くの時間を割かれ、本業である畑に出る時間や取引先をフォローする時間が削られるなどの課題があります。

こうした課題を解決する為に、生産者と飲食店の双方が安価で簡単に、すぐ利用できるサービスとしてCORECをご活用いただく機会が増えております。

引き続き各種サービスとの連携やサービスの利便性向上により、さらに幅広い場面でCORECを活用いただけるよう邁進いたします。

(農家・農園事例)



久松農園 様

取引先への導入率は100%

コレックの受注システムがあることで、本来私たちがやるべき顧客サービスやものづくりに経営資源を振り向けられるようになりました。



井出トマト農園 様

取引先毎に商品や価格設定を変更

農協や直売所だけでなく、レストランや小売店からの注文も増え、受注の効率化が必要となり導入しました。販売先毎に商品や価格を変えられる機能が便利です。

※6次産業化とは (6次産業化中央サポートセンターより以下抜粋)

「1次産業(農林漁業)」、「2次産業(加工)」、「3次産業(流通・販売)」の融合を図り、農林水産物等に新たな付加価値を生み出すことで、農山漁村における所得の向上、収益性の改善、雇用の確保に結びつけ、農林漁業の発展と農山漁村の活性化に寄与するものです。

<参照>

■COREC(コレック) <http://corec.jp>

業種を問わず、すべての企業間取引における注文のやり取りを Web 上で一元管理できるシステムです。企業間取引における受注・発注は、メールや FAX、電話など IT 化が進んでいない環境が多く、手間や時間のかかる作業となっています。そこで誰でも簡単に、Web 上での受注・発注を可能にしたサービスが COREC です。

受注を取るサプライヤーは Web 上で取引先ごとに注文書を作成し受注を取ることができ、受注処理の手間とコストを削減できます。また発注をするバイヤーは COREC を利用しているサプライヤーだけではなく、それ以外のサプライヤーにも FAX やメールで発注書を送信でき管理や共有がスムーズになります。

ラクーンは「企業活動を効率化し便利にする」という理念のもと、グループ全体で今までにない企業間（BtoB）取引のインフラ創造を目指してまいります。

ra((oon

株式会社ラクーン

代表者 : 代表取締役社長 小方 功
 所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目14番14号
 設立 : 1995年9月
 資本金 : 813,467千円(2015年10月末時点)
 株式 : 東京証券取引所マザーズ上場証券コード 3031
 URL : <http://www.raccoon.ne.jp/>

プレスリリースに関するお問合せ先

広報 : 督永(とくなが)・有本
 TEL : 03-5652-1692
 IR : 木村
 TEL : 03-5652-1711

サービスに関するお問合せ先

COREC 事業推進部 : 嶋
 TEL : 03-5652-1692